

## 第六十五回（令和元年度）江戸川乱歩賞のお知らせ

日本の推理作家への最高の登竜門・江戸川乱歩賞（日本推理作家協会主催）は、書き下ろし長編ミステリー小説（三五〇〜五五〇枚）を公募し、昭和三二年度の仁木悦子『猫は知っていた』以来、昨年度の斉藤詠一『到達不能極』に至るまで、大型新人と傑作を輩出してきました。

また平成四年度からフジテレビジョンの後援を得まして、賞金一〇〇〇万円を贈呈し、受賞作品を同局にて随時映像化しております。本年度の応募作は三五四編の多きに達しています。すでに予選は終了、最終候補作五編を選考委員が精読中で、左記の通り選考会を開き、今年度の受賞作を決定いたしますので、候補作品名をあらかじめお知らせいたします。

○主催 日本推理作家協会（代表理事・京極夏彦）

○後援 講談社・フジテレビジョン

○選考委員 新井素子、京極夏彦（代表理事）、月村了衛、貫井徳郎、湊かなえ  
（五十音順・敬称略）

○正賞 江戸川乱歩像  
賞金一〇〇〇万円

○選考委員会 六月六日（木）

○受賞記者会見 六月七日（金）

### ●候補作品

「日陰蝶」 小林 しゅんすけ（こばやし・しゅんすけ）

「消尽屋」 小林 宗矢（こばやし・そうや）

「シャドウワーク」 佐野 広実（さの・ひろみ）

「NOIRを纏う彼女」 神護 かずみ（じんご・かずみ）

「歌舞伎町 ON THE RUN」 箕輪 尊文（みのわ・たかふみ）